

令和4年度 学び舎ひまわり 第5講 開催報告

日時：令和4年12月10日（土） 14時 ～ 16時
会場：区役所6階 603号 会議室
受講生：23名（地域14名、企業1名、区役所8名）

卒業発表～マイプランの披露



小船 博之
笹下地区

地域内の情報弱者をなくす

地域内での情報共有は非常に重要である。使っているコミュニケーションツールは世代によって違うため、発信の手法を使い分け、「全員にもれなく伝える」ことが必要。その結果、新たな担い手も掘り起こすことができる。

情報の取扱いが多様化する中で、変化しながら「リアル・紙」と「ネット・WEB」のハイブリットで「わかる」地域活動を目指していきたい。



和田 政春
港南台地区

理想の自治会活動をめざして

自治会活動の活性化については、みんなが楽しく参加できるという事が理想。そのためにいかに仲間意識を持って活動するかが重要。地域活動は、実際に集まってみんなでやると楽しくなる。

現状を分析して、不十分なこと、まだ出来ていないことに取り組んで、もっと仲間を増やしていきたい。



稲村 直之
港南区工業会

めざせ頼れる地域密着型企业

地元企業、特に工業会会員企業が住民のみなさん、行政と連携し、港南区の活性化と発展に貢献できるようにしたい。

「この地域にこの会社があってよかった」と思ってもらえる企業を目指したい。そのためには、日頃の関係づくりや企業の持つノウハウの提供、万が一の災害時には避難場所になったり資材を提供したり等、色々と考えられることがある。

まずは、港南区工業会の認知度を上げる努力を続けていきたい。



田中 太郎
野庭住宅地区

Open my mind～最初は自分自身から～

地域には様々な方が住んでいるが、各々が交流する場所が不足していると感じる。

地域にとって重要なのは人と人の絆である。気軽に会話する場所が必要であり、そこで自分からコミュニケーションしていかないと成立しない。

まずは自分が、誰とでも同じように関わる気持ちを持つと思う。それが広がっていくことで誰もが主役になり、人種、性別、世代、文化などの違いを簡単にカテゴリ分けせず、誰でも安心して楽しく暮らせるまちが実現できる。



浅野 利幸
下永谷地区

何とかしたい！震災時の初期対応スピード

防災の行動主体は「自助」だが、震災直後の「共助」の対応の差が被災による損害・損失に大きく影響する。そのため、近隣の助け合いによりスピード対応が図れれば、減災にもつながる。

実際に発災した時を想定し、本当に機能する仕組みを作る必要がある。初動の見直し、組織として迅速に機能するための仕組づくりを中心に取り組む。

助け合いで乗り切る、減災力の高い地域を目指していきたい。



【職員】
三小田 晃児
下永谷地区担当

地域通貨で世代間交差

地域通貨を導入し、ボランティア活動等を報酬制として、イベント等で活用することにより、異なる世代が交わる接点を作れるのではないかと考えた。

ボランティア等の担い手不足が課題である中、子どもたちが興味を持ちそうな地域通貨をツールとして活用し、親世代も巻き込んで、地域を知る機会の増加や新たなボランティア層の獲得につなげる。

内海先生のコメント



この数年間、コロナ感染症の影響で集まりがなかなか持てませんでした。今年度はリアルな話し合いが進められたことで、各々のマイプランについてより深め合うことができ、完成されたものになりました。

地域は時代と共に変化していくもので、多様化していく流れについていかななくてはなりません。そのための知恵を絞った素晴らしい提案が沢山ありました。また、普遍的な地域課題に対する提案もありました。

物事の動きには、興味関心がある事を意欲的に行う人がいるかいないかが大きく関係してきます。仲間づくりをし、楽しく活動することが重要です。

今年度から企業の方が参加したのは大きなトピックスです。色々な形で地域と協働していければ新しいモデルができ、様々な事業に広がっていくという可能性を感じます。

色々な取組をしていただき、それを発信することで、他の地域にも広げていただけると良いと思います。

受講生による「ひとこと振り返り」

地区	氏名	感想
上大岡	山田 和男	卒業発表を参考として、今ある自分の役を務めていきたい。
日野第一	大野 千賀子	今後の町内会での地域づくりに役立てていきたい。
港南台	齊藤 由美	自分の地域のことを見直す良い機会となった。
永野	奥嶋 敬司	自分が楽しむことが活動を盛り上げることに繋がると改めて感じた。
野庭団地	中川 正彦	いい経験をした。今後の活動の参考にしたい。
野庭団地	丸山 耕輔	顔見知りが増えて楽しかった。
永谷	大嶋 武夫	楽しく過ごすことができた。これで終わらずに今後もつながりを活かしていきたい。
芹が谷	狩俣 努	皆同じようなことで困っていることが分かった。地域を盛り上げていきたい。
日野南	柳 あけみ	他地域や、区役所の人と話が出来て良かった。機会があればまた一緒にしたい。
笹下地区担当	櫻井 正成【職員】	あっという間だった。刺激を持ち帰って仕事に活かしたい。
日下地区担当	福司 英帆【職員】	普段の業務と違い、地域の人と話すことができて良かった。
日野地区担当	鈴木 勇氣【職員】	「自分の住んでいる地域が好き」という気持ちが動く力を大きくすると感じた。
野庭団地地区担当	山岡 佐江子【職員】	たくさんの新しい視点をもらう事が出来てワクワクした。
野庭住宅地区担当	桂 正紹【職員】	地域の色々な面を見ることができて良かった。
永谷地区担当	飯田 啓晶【職員】	地域の人と色々話げできた。今後の業務に活かしていきたい。
芹が谷地区担当	竹森 庸陽【職員】	区役所と地域の力をあわせて、区を活性化していきたい。

荻久保副校長のお話



マイプランの作成は大変だったと思いますが、自分の地域をより良くしようという気持ちがこもったものになっていると思います。

10期生みんなで話し合いながらマイプランに取り組んでいってもらえたらと思います。そのためにはお互いに理解することも大切です。コミュニケーションを取って、実現に向けて頑張ってください。

栗原副校長のお話



学び舎ひまわりは、港南区が大切にしている「協働による地域づくり」の中核を成すものです。10年目になる今年から、企業の方にも輪に加わっていただきました。

地域の皆さん、企業の皆さん、職員の皆さんに、それぞれの立場で地域への思いがこもったマイプランを作っていただきました。

これからも皆さんと協働による地域づくりを進めていけたらと思います。

古屋校長のお話



ご卒業おめでとうございます。
今年もコロナ禍ではありましたが、4年ぶりに全ての講座を無事に行うことが出来、大変嬉しく思っています。

先程のマイプランの発表を聞き、皆さんが地域の様々な課題に真摯に向かい合っていることを、大変頼もしく感じました。皆さんが作ったマイプランを、自分の地域や企業に持ち帰り、今後の活動に活かすとともに、マイプラン実施に向け、自治会の会長や、役員に話してもらいたいです。皆さんが提案された内容は、連合が抱えている課題ばかりです。皆さんが考えたマイプランを、私たちも大切にしていきたいと思っています。

私は、人との出会いにより、とても成長させてもらいました。学び舎ひまわりでの出会いも大切に活動していただきたいと思います。

高森名誉校長のお話



ご卒業おめでとうございます。

学び舎ひまわりは、今年度10周年を迎え、地域卒の卒業生は、208名になります。その多くの方が、地域活動のリーダーとして活躍しています。設立当初、期待していたことが、着実に実現しています。

近年、自治会町内会を基盤とする「地域」の役割が、より一層重要になっています。地域でできることは、まず自分たちで協力してやる。そして、できない部分を行政に担ってもらう。行政は地域のパートナーとして一緒に取り組んでもらうという「協働による地域づくり」が大切だと思います。

本日、学び舎ひまわりをご卒業される皆さんには、これからの地域活動において、この「協働」を活かしていただき、次代を担う子どもたちに、「ふるさと港南」を引き継いでいけるよう、ご活躍していただくことを期待しています。

卒業生代表のあいさつ（大久保最戸地区 吉田とも子さん）



学び舎ひまわりの10期生として、本日卒業することになりました。5回の講義で、それぞれ興味深い話が聞け、大変勉強になりました。中でも一番印象に残ったのは、ささげ祭りの見学でした。

ここで学んだ結果をヒントとして、自分なりに地域活動に貢献できたらと考えています。マイプランの「花と笑顔があふれるわがまち!!」が現実になるよう、少しでもアクションを起こしていきたいです。



卒業おめでとうございます！

学びのまとめ 集計結果

回答数 23件 / 回収率 100%

満足	やや満足	やや不満	不満
22件	1件	0件	0件
96%	4%	0%	0%

【受講生の主な意見】

- ・地域課題は様々であり、難しい問題もあると改めて感じた。しかし、少しの努力で実現可能なものも沢山あることにも気づかされた。
- ・発表されたプランそれぞれが素晴らしく、参考になった。
- ・他の人のプランの中に自分もやってみたいと感じたものがあり、これから取り組んでいきたい。
- ・自分の地域でこれから取り組もうと考えていたテーマが発表の中にあり、非常に参考になった。
- ・自分の身近なことに目を向けて考えていければと感じた。
- ・一人ではできなくても、仲間がいれば実現できると感じた。
- ・自分の地域をさらに成長させるための課題を発見することができた。
- ・みんな同じようなことで悩んでおり、今後も地域を超えて考えていければと思った。
- ・スキルアップした事例の共有が全体のレベルアップになると考えた。
- ・受講を通じて知り合いができ、今後意見交換が出来るようになった。
- ・これで終わりではなく、ここからスタートという心意気で取り組んでいきたい。
- ・この講座が区役所職員や企業を巻き込んでいた点は、大変良いと思った。